

## 第4回会議内容の事前協議 「指導者の確保」

### ○ 第4回事前「指導者の確保」

#### ○ 部活動地域移行に関するアンケート調査（教員用）

※速報値 ※回答者数1155人

Q 報酬が支払われるなら、地域移行後も指導したい  
と思いますか。

報酬が支払われても、  
指導したくない  
63%



## ○ 第4回事前「指導者の確保」

○ R5 運動部数 382部  
 + ⇒ 564部  
 ○ R5 文化部数 182部

564部の63%  
 ⇒ 355部

## ○ 第4回事前「指導者の確保」

### スポーツ庁・文化庁有識者会議の提言概要より

<p>スポーツ指導者の質・量の確保方策 (第4章)</p>	<p>・専門性や資質を有する指導者の量を確保する必要がある。</p> <p>・教師等の中には専門的な知識や技量、指導経験があり、地域でのスポーツ指導を強く希望する者もいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 指導者資格の取得や研修の実施の促進。JSPOは、競技団体等が主催する大会において、公認スポーツ指導者資格の取得を義務付け。</li> <li>○ 部活動指導員の活用や、教師等による兼職兼業、企業・クラブチームや大学からの指導者の派遣、地域のスポーツ団体等と連携した人材バンクの設置など。指導者の確保（適切な対価の支払い等）のための国の支援方策の検討。</li> <li>○ 希望する教師が円滑に兼職兼業の許可を得られるよう、国は許可の対象となり得る例を周知するとともに、教育委員会は兼職兼業の運用に係る考え方を整理。</li> </ul>
<p>文化芸術団体等の整備充実 指導者の質・量の確保方策 (第3章)</p>	<p>・どの地域においても、受け皿となる文化芸術団体等の整備充実が必要だが、地域文化芸術団体と中学校等との連携が十分でないところが多い。</p> <p>・専門性や資質を有する指導者の量を確保する必要がある。</p> <p>・教師等の中には専門的な知識や技量、指導経験があり、地域での指導を強く希望する者もいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国は各地方公共団体における取組の参考となるよう、連携や支援の在り方について先進的に取り組んでいる事例をまとめ提供。</li> <li>○ 中学生を受け入れる文化活動等の実施に対して、現在の文化部活動の地域移行に向けた事業の充実を含む必要な予算の確保を検討。地域の実情に応じた支援体制の整備。</li> <li>○ 指導者資格の取得や研修の実施の促進など地域の実情に応じた次世代の指導者育成の仕組みづくりの推進。</li> <li>○ 部活動指導員の活用や、教師等による兼職兼業、地域の文化芸術団体などと連携しての指導者の派遣、人材バンクの設置など。指導者の確保（適切な対価の支払い等）のための国の支援方策の検討。</li> <li>○ 希望する教師が円滑に兼職兼業の許可を得られるよう、国は許可の対象となり得る例を周知するとともに、教育委員会は兼職兼業の運用に係る考え方を整理。</li> </ul>

## ○ 第4回事前「指導者の確保」

### 学校部活動及び新たな地域クラブ活動の 在り方等に関する総合的なガイドライン

- スポーツ・文化芸術団体の指導者のほか、部活動指導員となっている人材の活用、退職教師、教師等の兼職兼業、企業関係者、公認スポーツ指導者、スポーツ推進委員、競技・活動経験のある大学生・高校生や保護者、地域おこし協力隊など、**様々な関係者から指導者を確保**する。
- スポーツ・文化芸術団体等の協力を得ながら、指導者の発掘・把握に努め、求めに応じて指導者を紹介する**人材バンクを整備**するなど、地域クラブ活動の運営団体・実施主体による指導者の配置を支援する。

## ○ 第4回事前「指導者の確保」

### 【方向性】

- 部活動地域移行にあたって、  
一定数の指導者の確保が必要

### 【具体的な内容】

- 北九州市としてどのような  
人材資源があるのか、又は、ないのか  
⇒ 関係団体が協力し、  
周知する必要があるのではないか
- 確保した人材をどのように整理するのか  
⇒ 人材バンク等で整理する必要があるのではないか
- どのような形の人材バンクができるか